

	科目名	単位数	内容
1	保健医療福祉行政論	2	医学を専門とする教員と社会政策・労働経済論を専門とする教員が、それぞれの経験を活かして、保健、医療、福祉の政策や行政の実施体制を開設する。
2	精神保健Ⅰ	2	看護師業務およびカウンセリング業務を経験した教員が精神保健に関する基本的な知識について講義・演習する。
3	居住福祉論	2	民間コンサルトで22年間、住宅政策や福祉のまちづくりのコンサルティングに携わっていた経験をふまえ、高齢者にとって優しく快適で安全・安心な住環境整備方策について講述する。
4	福祉のまちづくり論	2	それぞれソーシャルワーカー、看護師の実践経験があり、病者・障害者支援のためのまち（地域社会）づくりについて講義・演習により実践力を培う。
5	児童福祉論	2	児童福祉施設、保育所にてソーシャルワーカー、カウンセラーとして相談援助に携わった教員が、その経験を活かして今日的な課題（いじめ問題、虐待、不登校等）への制度、対応について具体的に指導する。
6	高齢者福祉論Ⅰ	2	高齢者福祉の現場に従事した教員が、実践事例を紹介しながら、利用者理解の方法、相談支援のプロセスを詳説する。
7	高齢者福祉論Ⅱ	2	高齢者福祉の現場に従事した教員が、実践事例を紹介しながら、利用者理解の方法、相談支援のプロセスを詳説する。
8	障害者福祉論	2	障害者支援に携わっている様々な実践者もしくは実践経験者より、生活支援、就労支援、地域の展開等について、講義する。
9	地域福祉論	4	社会福祉協議会で専属アドバイザーの実務経験を生かした事例などを多用します。
10	福祉計画論	1	社会福祉協議会で専属アドバイザーの実務経験を生かした事例などを多用します。
11	保健医療サービス	2	急性期病院での社会福祉士としての医療ソーシャルワーカーの実務経験を活かし、本科目では患者・家族に必要な社会保障制度と医療ソーシャルワーク実践について講義する。
12	就労支援サービス	1	就労支援に携わっている様々な実践者もしくは実践経験者より、個別支援および地域の展開等について、講義する。
13	社会福祉管理運営論	2	社会福祉協議会で管理職、業務執行理事として、社会福祉事業（介護保険事業、指定管理事業、委託事業）の管理運営に携わってきた教員が、その経験を活かして、事業のマネジメントの概要、理論、方法等について講義する。
14	ソーシャルワーク論Ⅳ	4	福井県内小学校・中学校でのスクールカウンセラー等に携わった教員が、その経験を通してコミュニケーションの方法をより具体的に考察する。
15	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	スクールカウンセラーとして学校現場、また施設・病院等の現場を経験した教員が、その経験を活かし基本的なコミュニケーションの取り方、対応についてより具体的に考察する。
16	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	実習指導等に携わった教員がその経験を活かして、今日的な課題（高齢者、児童、地域、保健医療、障害、権利擁護等々）問題について、制度、サービスを含めその対応について指導を行う。
17	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	教員は社会福祉士であり、元外国人支援機関での実務経験があり豊富な事例を授業で検討することが可能である。
18	ソーシャルワーク実習	4	社会福祉施設にてソーシャルワーカーとして相談援助業務に携わった教員が、その経験を活かして相談援助の具体的なプロセスを教示し、個別に指導する。
19	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	社会福祉施設にてソーシャルワーカーとして相談援助業務に携わった教員が、その経験を活かして相談援助の具体的なプロセスを教示し、個別に指導する。
20	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	社会福祉施設にてソーシャルワーカーとして相談援助業務に携わった教員が、その経験を活かして相談援助の具体的なプロセスを教示し、個別に指導する。

	科目名	単位数	内容
21	ソーシャルワーク 特別講義B	1	地域の課題解決に向けた実践を行っている地域へのフィールドワークを通して、地域課題解決に向けた実践について学ぶ。
22	法学概論	2	弁護士としての実務経験から、その条文や制度が、立法時に想定された趣旨目的に限らず、現実の社会の中で実際にどのように使われ、どのような働き(機能)をしているか、そのルールがなかったり違ったら社会がどう変わるのかを指摘しながら講義を進める。
23	権利擁護と民法総則	2	社会福祉協会で専門員を経験し、法人後見受任組織の構成員である教員が、日常生活自立支援事業と成年後見制度について解説する。
24	民法(家族法)	2	弁護士としての実務経験から、その条文や制度が、立法時に想定された趣旨目的に限らず、現実の社会の中で実際にどのように使われ、どのような働き(機能)をしているか、そのルールがなかったり違ったら社会がどう変わるのかを指摘しながら講義を進める。
25	民法(財産法)	2	弁護士としての実務経験から、その条文や制度が、立法時に想定された趣旨目的に限らず、現実の社会の中で実際にどのように使われ、どのような働き(機能)をしているか、そのルールがなかったり違ったら社会がどう変わるのかを指摘しながら講義を進める。
26	医学概論	2	病理専門医であり病理診断や病理解剖などの実務経験をもつ教員が、人体の構造と機能さらに傷病論など医学全般について概説する。
27	生涯発達学	2	病理専門医であり病理診断や病理解剖などの実務経験をもつ教員が、「生涯発達」という視点から人間という存在を理解し、「発育・成熟・老化」「病気・障害」を関連づけて概説する。
28	発達心理学Ⅰ	2	子ども家庭相談業務に10年間従事および小中学校スクールカウンセラーとして従事してきた知識、技術等の実務経験を生かし、子どもの心身の発達について解説する。
29	発達心理学Ⅱ	2	子ども家庭相談業務に10年間従事および小中学校スクールカウンセラーとして従事してきた知識、技術等の実務経験を生かし、青年期以降の心の発達および発達に伴う諸問題について解説する。
30	心理学概論	2	公認心理師・臨床心理士の資格をもち、心理相談業務の経験のある教員が、その経験を通して心理的支援の方法をより具体的に考察する。
31	精神科リハビリテーション学	2	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、リハビリテーション実践スキルを教授する。
32	精神保健福祉制度論	2	大阪府社会福祉専門職として、保健所、精神保健福祉センター等において、精神保健福祉業務に従事していた経験を活用し担当科目を講義する。
33	精神保健 ソーシャルワーク論Ⅰ	2	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、精神障害者支援の基盤について教授する。
34	精神保健 ソーシャルワーク論Ⅱ	4	精神保健福祉におけるソーシャルワーカー経験を有する教員が、精神障害者への援助技術について講義する。
35	精神保健 ソーシャルワーク論Ⅲ	2	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、精神障害者の地域での支援について教授する。
36	精神保健 ソーシャルワーク演習	2	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、事例を材料に実践スキルを教授する。
37	精神保健ソーシャル ワーク実習指導Ⅰ	1	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、実習に必要な支援知識・スキルを教授する。
38	精神保健ソーシャル ワーク実習指導Ⅱ	1	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、実習に必要な支援知識・スキルを教授する。
39	精神保健 ソーシャルワーク実習	4	ソーシャルワーカーの実務経験を持つ教員が、実習を通じて支援スキルを教授する。
40	基礎演習(岡田)	2	自治体職員(ソーシャルワーカー)として勤務した学びと経験をもとに講義・演習する。

